



横浜市立 瀬谷さくら小学校

学校運営協議会だより

平成25年7月8日

平成25年度・第1号

共に学び、共に創る地域の学校「瀬谷さくら小学校」

～みんなの力で守り育てよう、瀬谷さくら小学校、さくらの子～

学校運営協議会 4年目へ 会長に網代さん選出



瀬谷さくら小学校の開校と同時に発足した瀬谷さくら小学校学校運営協議会も4年目を迎えることになり、横浜市教育委員会から「学校運営協議会設置校」に再指定を受けました。（3年ごとに更新することになっています）

5月16日、平成25年度第1回運営協議会が開催され、引き続き、網代会長が会長に選出されました。

（会長あいさつの要旨）

早いもので、学校運営協議会も4年目を迎えることになりました。児童の皆さんの健やかな成長を願って、“共に学び、共に創る地域の学校「瀬谷さくら小学校」～みんなの力で育てよう瀬谷さくら小学校・さくらの子～”を念頭に、これまで以上に努力してまいりたいと思います。



網代 会長

4年目を迎えて事業計画にも掲げましたように、「学校運営協議会の役割とそのために必要な機能、組織のあり方」について改めて検討し、具体化してまいりたいと思います。そのためにも、保護者の皆様や地域の皆様のニーズを把握するためのアンケートや、逆に、運営協議会の活動を皆様にお知らせする広報活動に、より一層の力を注いでまいります。これまで以上に皆様のご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

学援隊隊長に馬場さん

6月12日、瀬谷さくら小学校学援隊総会が開催され、靱山前隊長が急逝された後、空席になっていた学援隊長に、ひなた山地区自治会代表でひなた山第二自治会会長の馬場勝己さんが選出されました。「150名の隊員の皆様の活躍を大変頼もしく思い、また、横浜を代表するような学援隊に育ったことを誇りに思っています。子どもたちの安全・安心を第一に、私もがんばりますので、これからもよろしくお願いします」と就任の挨拶をされました。



馬場 隊長



平成25年度 新体制スタート 学校運営協議会



5月16日、横浜市教育委員会から池田指導主事、三浦指導主事を迎え、平成25年度から3年間の学校運営協議会設置校指定書の伝達と 学校運営協議会委員の委嘱式が行われました。委員には、転居された下瀬谷団地自治会の飯島前会長に代わって同自治会の金澤会長が、PTAの三村前副会長と粕山前副会長に代わって永副会長と斉藤副会長が、それに学校代表として松田副校長が、新たに委嘱を受けました。

指定証書を受取る八嶋校長 引き続き行われた第1回学校運営協議会では、役員案、平成25年度事業計画案、部会構成とその担当委員案が承認され、25年度の新しい体制がスタートしました。

役職	氏名	区分	団体役職
会長	網代宗四郎	地域代表	瀬谷区連合自治会町内会連絡協議会 副会長 瀬谷第二地区連合自治会 会長 南瀬谷ニュータウン自治会 会長
副会長	馬場勝己	地域代表	ひなた山地区自治会連絡協議会 会長 ひなた山第二自治会 会長
	今井保美	地域代表	ひなた山地区自治会連絡協議会 前会長
委員	黒木昭博	地域代表	下瀬谷自治会 会長
	金澤文雄	地域代表	下瀬谷団地自治会 会長
	西村快晴	地域代表	瀬谷第二地区連合自治会 前総務 下瀬谷第三町内会 元会長
	諸橋茂夫	学識経験者	横浜隼人高校講師 ひなた山第三自治会 元会長
	野口元	地域代表	瀬谷さくら小学校学援隊 事務局代表
	青木俊太郎	はまっ子代表	瀬谷さくら小学校はまっ子ふれあいスクール チーフパートナー
	與倉光男	学識経験者	南瀬谷中学校 元校長 日向山小学校はまっ子ふれあいスクール 前チーフパートナー
	太田和男	保護者代表	瀬谷さくら小学校PTA 会長
	永尚子	保護者代表	瀬谷さくら小学校PTA 副会長
	斉藤慶子	保護者代表	瀬谷さくら小学校PTA 副会長
	八嶋真理子	学校代表	瀬谷さくら小学校 校長
	松田恵子	学校代表	瀬谷さくら小学校 副校長
推進員	境伸泰	教諭	瀬谷さくら小学校 主幹教諭
	諏訪浩	教諭	瀬谷さくら小学校 主幹教諭



金澤 委員



永 委員



斉藤 委員



松田 委員

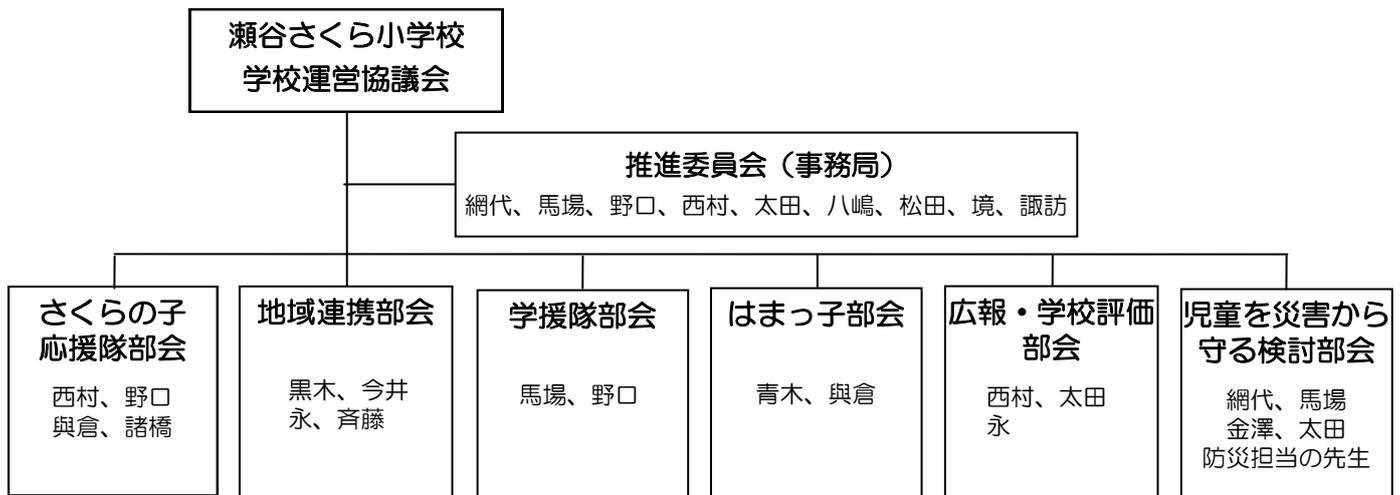
算数授業サポート始まる

さくらの子応援隊

算数授業の中に地域の教育支援ボランティアが入り、個別指導を充実させることによって、基礎となる学力を保障していこうという試みが始まりました。今は、算数の基礎、基本の定着に重要な時期である3年生を対象にしていますが、経過を見ながら4年生にも広げていく予定です。5月17日から毎週金曜日に実施しており、支援者の負担を軽減するため、支援者を8グループに分け、個人的には月1回程度の参加になるよう配慮しています。しかしながら、月1回の参加では、子どもたちの理解の進み具合が見えにくいなどの欠点もあり、今後の検討課題になりそうです。

平成25年度 部会構成と担当委員 学校運営協議会

部会構成は、昨年度までの「教育支援部会」の名称を「さくらの子応援隊」と改めて、学校地域コーディネーターを中心に、より幅広い活動を目指すことになりました。



平成25年度事業の具体的な取組 学校運営協議会

1. 学校運営に関する学校運営協議会の役割とそのために必要な機能、組織のあり方についての見直し
 - (1) 学校運営協議会の役割、組織のあり方についての検討
 - (2) 瀬谷さくら小学校に有用な組織の在り方・地域人材の効果的な活用の在り方
2. 保護者や地域住民の意向を適切に把握し、学校運営や教育活動に反映させる方策を検討し実施
 - (1) 保護者や地域等の思いや願いを把握するためのアンケート調査の実施と分析
 - (2) 学校の広報活動の在り方について検討しその結果や課題等を公表
 - (3) 学校支援組織の有用な活用と円滑な連携方法の検討
3. 学力向上・防災計画・地域連携等についての活動と地域人材の効果的な活用について
 - (1) さくらの子応援隊部会・地域連携部会等、各部会の組織・運営体制の構築
 - (2) 各部会の活動方針・活動の在り方・地域人材の効果的な活用の在り方を検討
 - (3) 地域コーディネーター養成講座への参加とさくらの子応援隊の活用
4. 地域参画型学校運営協議会の在り方や、積極的な活用方法の在り方の検討
 - (1) 先進校の事例等を研修し、本校学校運営協議会の今後の在り方や活動について研究する。
 - (2) 支援組織への参加者意識を高める学校運営協議会の広報の在り方の検討
 - (3) 課題の整理と、結果の保護者・地域・関係機関への広報
 - (4) 有用な学校評価方法の開発と積極的な広報活動の在り方の検討
5. 学校運営協議会設立による成果と課題の収集
 - (1) 合議機関として、その役割と責任を果たしているか。
 - (2) 設置後の学校経営や既存の学校支援組織の活動への影響を集約する。
 - (3) 保護者、地域等に向けて学校運営協議会の活動を広報し、学校評価を通して、設置したことについての評価を受ける。

さくらの子基金設立

運営委員会 初代委員長に網代さん

昨年度から準備を進めてきた学校ファンド、瀬谷さくら小学校支援基金（さくらの子基金）が設立されました。5月16日、第一回の運営委員会が開催され、初代委員長には網代南瀬谷ニュータウン自治会長が選出されました。

さくらの子基金は、保護者・地域が運営管理する資金管理組織で、児童の安全・安心を確保するために毎日活動している「学援隊」や、算数、音楽、クラブ活動、図書、園芸、盆踊りなどで児童の学習支援を行っている「さくらの子応援隊」などに対して、活動資金を提供するものです。



原資には、地域の皆さんからの援助資金（寄付金、ご祝儀、夏祭り模擬店収益金の一部など）や学援隊が実施しているアルミ缶売却代金などが当てられます。将来的には、バザーや広報誌に広告を載せるなどの活動も考えられます。（5ページの図をご参照ください）

基金設立にあたって、安定的な資金の確保が課題になっていましたが、瀬谷さくら小学校区交流会と瀬谷さくら小学校PTAから、夏祭り模擬店の収益からの継続的な資金援助をしていただけるようになりました。これらの資金を核にして、皆様からのご祝金や寄付金、学援隊によるアルミ缶の売却代金などを加えて、基金が運営されます。

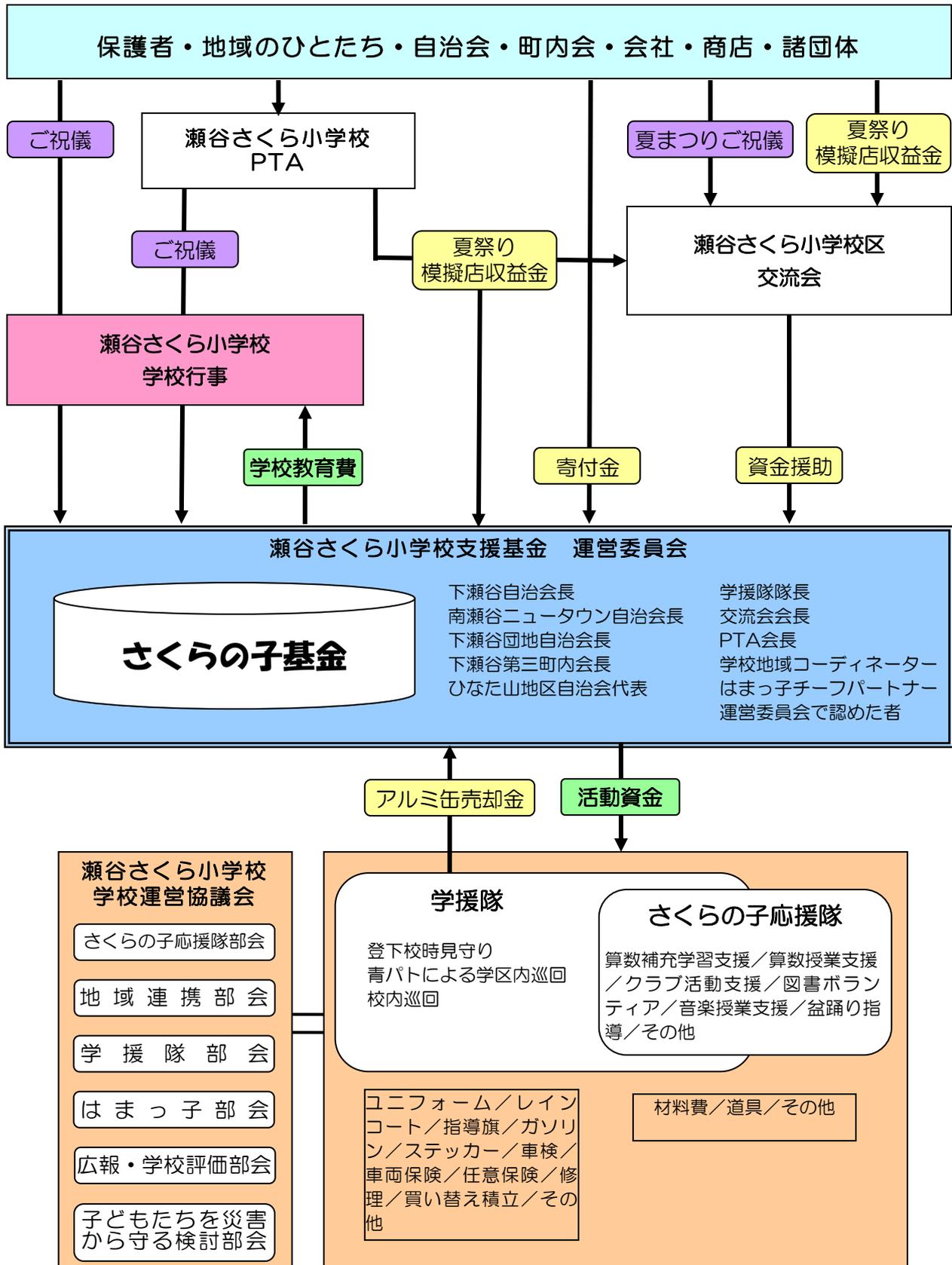
基金は、「瀬谷さくら小学校支援基金運営委員会」によって管理され、運営委員は、下瀬谷自治会長、南瀬谷ニュータウン自治会長、下瀬谷団地自治会長、下瀬谷第三町内会長、ひなた山地区自治会代表、学援隊長、交流会長、PTA会長、PTA役員、学校地域コーディネーター注1、はまっ子チーフパートナー、その他運営委員会で認められた者で構成することが、「瀬谷さくら小学校支援基金規約」によって定められています。

注1) 学校地域コーディネーターとは、「地域の教育力を生かした学校運営の支援を目的に、学校と地域のパイプ役として調整を行う者」で、教育委員会の年8回の講習を受けた人です。学校支援ボランティアの調整や、教育活動・地域活動の充実につながるような企画、提案を行い、学校と地域の交流、連携を進めます。

役 職	氏 名	団 体 役 職
委 員 長	網代宗四郎	南瀬谷ニュータウン自治会 会長
副 委 員 長	與倉光男	学校地域コーディネーター
	西村快晴	学校地域コーディネーター（予定）
会 計	野口元	学校地域コーディネーター
	斉藤慶子	瀬谷さくら小学校PTA 副会長
総 務	永尚子	瀬谷さくら小学校PTA 副会長
	橋野彩子	瀬谷さくら小学校PTA 書記
委 員	馬場勝己	ひなた山地区自治会 代表
	黒木昭博	下瀬谷自治会 会長
	今井保美	学校地域コーディネーター（予定）
	諸橋茂夫	ひなた山第三自治会 元会長
	金澤文雄	下瀬谷団地自治会 会長
	後藤久子	下瀬谷第三町内会 会長
	青木俊太郎	瀬谷さくら小学校はまっ子ふれあいスクールチーフパートナー
	太田和男	瀬谷さくら小学校PTA 会長
	山田昌行	瀬谷さくら小学校学援隊 事務局
会計監査	野口周作	瀬谷さくら小学校PTA 前会長
	原田勝弘	瀬谷さくら小学校学援隊 事務局

注1) 学校地域コーディネーターとは、「地域の教育力を生かした学校運営の支援を目的に、学校と地域のパイプ役として調整を行う者」で、教育委員会の年8回の講習を受けた人です。学校支援ボランティアの調整や、教育活動・地域活動の充実につながるような企画、提案を行い、学校と地域の交流、連携を進めます。

さくらの子基金（学校支援ファンド）の仕組み



※ ご祝儀、寄付金は強制ではありません。ご祝儀、寄付金を頂いた場合は「さくらの子基金」に加えさせていただきます

※ このほかに、学援隊とさくらの子応援隊に、教育委員会から補助金をいただいております

交流会会長に黒木さん

6月25日、瀬谷さくら小学校区交流会総会が開催され、靄山前会長が急逝された後、会長代行を務めていただいた下瀬谷自治会の黒木会長が交流会会長に選出されました。「子どもたちの健やかな成長を願って、先輩方が築いてこられた地域交流の灯を消さないよう頑張っていきたい」と抱負を述べられました。

総会では、活動報告、決算報告、役員選出、活動計画のほか、さくらの子支援基金への資金援助が満場一致で承認されました。



黒木 会長



3年生まちへ

5月23日、24日、「竹」をテーマに街歩きが行われ、歩行時の安全を守るため学援隊も参加しました。下瀬谷地区の竹林を探しながら、タケノコが竹になっていく様子などを観察しました。

宗川寺では、副住職から、本堂や宝物堂、庫裏などの建物の説明を聞いたり、瀬谷八福神のひとつ「だるま大師」の話の聞いたり、お寺とお宮の参拝の仕方の違いなどを勉強したりしました。



1・2年生に交通安全指導

5月24日と6月27日、PTA主催で、交通安全協会や学援隊も参加して、1・2年生への、通学路における交通安全指導が行われました。

通学時は渡ってはいけない横断歩道や登校時だけ渡っていい横断歩道など、やや難解なところもありましたが、子どもたちの呑み込みは早いようです。登下校時の見守りをを行っている学援隊や大人たちも、通学路のルールを理解しておくことが必要です。

飯島さん ありがとうございます

「下瀬谷小・日向山小」小規模校再編検討委員会以来、瀬谷さくら小学校の開校、学校運営協議会、学援隊、さくらの子応援隊、瀬谷さくら小学校区交流会などの役員を務められ、学校と地域のためにご尽力いただきました下瀬谷団地の飯島通博さんが、家庭の都合で学区外へ転居されました。地域から飯島さんを失うことは大変残念ですが、これまでのご尽力に感謝申し上げます、今後のご活躍を祈念致します。

さくら小地域夏まつり

開催日 7月27日（土曜日）

18:00～21:00

7月28日（日曜日）

17:30～20:30

場 所 瀬谷さくら小学校校庭

出し物 模擬店 盆踊り

【編集後記】

大泉第一小学校の児童が校門の前でナイフを持った男に襲われ、児童3人が重軽傷を負う事件が発生しました。またかという思いですが、「児童たちの下校を見守っていた71才の男性が、横断旗をもって男に立ち向かい、被害の拡大を防いだ」という記事を読んで感動しました。私たちさくら小学校学援隊の周りでも起こりうる事件だと再認識し、気を引き締める必要があります。と同時に、できるだけ大勢の人に学援隊に参加していただき、しかも目立つようにすることが、事件の抑止力にもつながるのではないかと思います。皆様の学援隊への参加をお待ちしています。（西村記）

学校運営協議会だより
平成25年度・第1号

平成25年7月8日
横浜市立瀬谷さくら小学校
学校運営協議会
発行責任者

会長 網代宗四郎

編集

広報・学校評価部会